

【1】 次の文章を読んで問いに答えよ。

人類が地球上に初めて出現したのは、今から200万年以上も前のことで、地質学でいう 1 の初期にあたる。この時期は 2 時代とも呼ばれ、寒さの厳しい氷期と比較的温暖な間氷期が繰り返された。人々は岩陰や洞窟等を利用して住み、石を打ち欠いたり、はく片を加工して作った 3 石器を道具として生活に役立てるようになった。この時代を考古学では 4 時代と呼んでいる。日本列島が現在のような形を整えたのは、今からほぼ1万年前であるが、人類がこの土地に住むようになったのは、それよりかなり古いことである。そのころ、日本列島はアジア大陸と陸続きであったから、人々は北方からは 5、南方からは 6・オオツノジカなどを追いながらやってきたものと考えられる。当時の化石人骨として 7 県の浜北人・三ケ日人、8 県の港川人・山下町洞人などが発見されている。1946年に 9 氏によって 10 県の岩宿で 1 後期の 11 層（赤土層）から石器が発見されたことから①戦前の常識が一挙に崩れさった。この時期の文化は 12 を伴わないので 13 文化と呼ばれた。このころの石器としては、打撃用であり、木の伐採や穴掘りなどに使用された（A）、刺突に使う槍先形の（B）、形状により、直接手で握る部分をつけてナイフのように切断する道具、あるいは槍先につける（C）、この時代の末期には長さ2～3cmくらいのきわめて小型の（D）も出現した。

問1 1 ～ 13 にあてはまる語句を記せ。

問2 「下線部①とはどういうことか記せ。」という問題の解答に次のような文がある。

【日本には_____時代はなかった、ということ。】

文中の_____にあてはまる語を漢字3字で記せ。

問3 I（A）～（D）にあてはまるものを語群から選び、記号で答えよ。

語群 ア．握斧（ハンド・アックス） イ．尖頭器（ポイント）
ウ．石刃（ブレイド） エ．細石器（マイクロリス）

II それぞれにあてはまる写真を次から選び、記号で答えよ。

あ



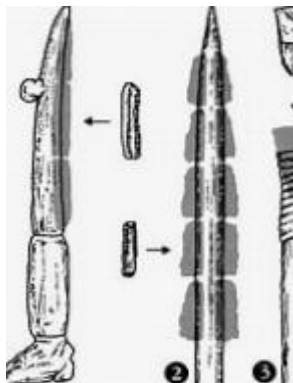
い



う



え



- 【2】次の文章の（ ）にあてはまる語句を語群から選び、記号で答えよ。また、_____にあてはまる語を記せ。また下線部について問いに答えよ。

地質学でいう_____A_____のはじめに日本列島はほぼ現在に近い形になった。人々は石槍より有効な_____B_____を使い、シカやイノシシなどを捕らえるようになった。石器も従来の石器に加えて鋭利な刃をもつ（ 1 ）石器も用いるようになった。そして煮たり貯蔵したりするために①土器を使用することが始まった。なお、この時代は土器の形態の変化を基準にして六期に区分されている。漁労も釣針や銚などの（ 2 ）やおもりの（ 3 ）などを使用するようになった。特に漁労と貝採集の比重が大きい太平洋地域では、長期にわたって貝殻などを捨てたことからできた②貝塚が、当時の海岸線に沿って多数分布していることが注目されている。貝塚は縄文人のゴミすて場で当時の_____C_____状態を知る上で重要な遺跡である。当時の人々はふつう飲み水や食物が手に入りやすい（ 4 ）上に血縁で結ばれた集団を単位に_____D_____住居の集落を作り、共同作業（労働）を行って生活をしていたと考えられている。この時代の③中期には集落も大規模になった。しかし、このころの墓地は共同墓地で、個人の富を示す副葬品がないことや、住居の規模や構造にもほとんど違いが見られないことから、まだ身分の差や_____E_____の差のない社会であったと考える。縄文文化は、土器や（ 1 ）石器を使用する点では（ 5 ）文化といえるが、ヨーロッパやアジア大陸で、この時代に（ 6 ）の発生があったのとは異なって狩猟・漁労を中心とする（ 7 ）経済の時代が数千年間続いていた。この文化の土器は、比較的（ 8 ）で焼いた（ 9 ）手で（ 10 ）色のもろいものであった。

語群 ア．厚 イ．新石器 ウ．磨製 エ．台地 オ．高温 カ．農耕・牧畜
キ．薄 ク．旧石器 ケ．打製 コ．低地 サ．低温 シ．自然採集
ス．磨製 セ．骨角器 ソ．石錘 タ．赤褐 チ．黒褐

問1 下線部①などの年代を測定する場合、_____炭素の濃度を機械で測定して年代を割り出す方法がとられている。この文章の_____にあてはまる語を漢字3字で記せ。

問2 下線部②について次の文章の_____にあてはまる語を記せ。

日本の貝塚研究は、1877年、アメリカ人生物学者_____a_____が横浜から新橋に向かう汽車の中から貝塚を発見し、調査した事から始まった。これが_____b_____貝塚である。

問3 下線部③について問いに答えよ。

前期中ころから中期末ころの大規模な集落に三内丸山遺跡がある。この遺跡はどこにあるか、記号で答えよ。

ア．秋田県 イ．岩手県 ウ．北海道 エ．青森県

【3】 次の写真や図を見て問いに答えよ。



- Aについて 問1 この土器は何期のものか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 早期 イ. 前期 ウ. 中期 エ. 後期 オ. 晩期
 問2 これは何土器と呼ばれているか、漢字4字で記せ。
- Bについて 問1 この土器は何期のものか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 早期 イ. 前期 ウ. 中期 エ. 後期 オ. 晩期
 問2 これは何土器と呼ばれているか、漢字4字で記せ。
- Cについて 問1 この土器は何期のものか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 草創期 イ. 早期 ウ. 前期 エ. 中期 オ. 後期
 問2 これは何土器と呼ばれているか、漢字4字で記せ。
- Dについて 問1 この土器は何期のものか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 早期 イ. 前期 ウ. 中期 エ. 後期 オ. 晩期
 問2 これは亀ヶ岡式土器と呼ばれているが、下線部分の名がつく遺跡は何県にあるのか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 秋田県 イ. 新潟県 ウ. 長野県 エ. 青森県
- Eについて 問1 これは大湯遺跡に見られるものであるが、この遺跡は何県にあるか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 秋田県 イ. 新潟県 ウ. 宮城県 エ. 岩手県
 問2 これは何と呼ばれているか、漢字4字で記せ。
- Fについて 問1 これはどのような時に使われるか、あてはまるものを次から選び、記号で答えよ。
 ア. 動物の皮はぎなどに使用したと考えられている。
 イ. 網の錘として使われた。
 ウ. 狩猟用具として矢の先端につけた。
 エ. 石・骨・木などに穴を開けるために使われた。
 問2 これは何と呼ばれたか、次から選び、記号で答えよ。
 ア. 細石刃 イ. 石匙 ウ. 石錘 エ. 石錐

【4】 次の各問いに答えよ

1. 交易を示す石材の一つに黒曜石がある。これが取れることで知られている和田峠はどこにあるか、次から選び、記号で答えよ。
ア. 大分県 イ. 熊本県 ウ. 長野県 エ. 北海道
2. 装身具の玉の原料として好まれた硬玉は姫川流域やその近辺に産出した。この下線部はどこにあるか、次から選び、記号で答えよ。
ア. 秋田県 イ. 新潟県 ウ. 宮城県 エ. 岩手県
3. 約 50 戸の馬蹄形状の住居跡で知られている縄文前期の貝塚で横浜にあるものを次から選び、記号で答えよ。
ア. 夏島貝塚 イ. 加曽利貝塚 ウ. 津雲貝塚 エ. 南堀貝塚
4. 安山岩で奈良県の二上山を中心に半径 20km に分布している石材を、次から選び、記号で答えよ。
ア. サヌカイト イ. ひすい ウ. 鉄鉱石 エ. アスファルト
5. あらゆる自然物や自然現象に精霊がいるとする信仰を何というか、カタカナで記せ。
6. 調理用の石器で、木の実や球根類をすりつぶすときに用いた道具に_____とすり石がある。
_____に適語を漢字 2 字で記せ。
7. 動物の骨や角で作る釣針や銚などの道具を_____という。_____に適語を漢字 3 字で記せ。
8. 図 1 は、弓矢の矢先につけて使われた。この石器の名称を漢字 2 字で記せ。
9. 縄文時代、遺体の埋葬として図 2 のような_____が一般的であった。_____に適語を漢字 2 字で記せ。
10. 図 3 は _____ と呼ばれるもので、女性をかたどったものが多いと見られる。
11. 図 4 は ① の風習があったことを示す写真で、上の歯に傷がつけられている ② の様子もわかる。② は特殊な身分をあらわすものと考えられる。_____に適語を①は漢字 2 字、②は漢字 4 字で記せ。

図 1



図 2



図 3



図 4



【5】 次の文の _____ にあてはまる語を記せ。また下線部について問いに答えよ。

日本列島の中で数千年にわたって縄文文化が続いている間に、中国では早くも農耕が起こり鉄器や青銅器などの 1 が使用されていた。やがて紀元前3世紀には秦、次いで漢という強大な統一国家が相次いで現れ、その文化は周辺諸民族に波及した。日本でも九州北部に新しい文化が起こり、農耕社会が成立した。新文化は①水稲農耕と 1 の使用を特徴とし、またこれまでの縄文土器にかわって②弥生土器と呼ばれる土器を伴っていた。紀元前4世紀初めころには西日本に水稲農耕を基礎とする弥生文化が成立し、やがて東日本にも広まった。こうして③北海道と南西諸島を除く日本列島の大部分の地域は、限られた自然物を食料として 2 する段階から人間が自然に働きかけ、計画的に食料を 3 する段階へと入ったのである。この時代には、ほぼ同時期にもたらされた青銅器（主に宝器・④祭器として使われる）と鉄器（実用の工具・武具として用いられる）のほか、⑤織物など中国に起源を持つものが多い。しかし朝鮮南部の 4 と同じ系統の墓が九州北部で発見されていることや、稲作が東南アジアから 5 下流域・朝鮮南部を経て九州北部に伝えられたと考えられることなどから、この文化は朝鮮南部に形成された文化に直接的影響の下に成立したと推測される。

水稲農耕は初期には低湿地を利用した 6 が営まれ、⑥木製の鍬・鋤、湿地での足の沈下をおさえる 7 などを用いて耕作が行われた。 8 県の唐古・鍵遺跡は多数の木製農具を出土したことで知られている。モミは 9 され、稲が実ると 10 で穂首を刈り、脱穀には木臼・ 11 が使われ、穀物は貯蔵穴や 12 に保管された。木製農具の製作には、初め磨製石斧が使用されたが、しだいにこれに代わって⑦鉄製工具が使用されるようになった。後期になると水田は広大な沖積平野に作られるようになり、 13 県の登呂遺跡では、堅固な畔で区画された大規模な水田と、⑧灌漑・排水のための水路が発見されている。

人々の住居は、 14 が一般的で、集落には掘立柱の 12 や平地式の建物もしだいに多くなり、中には⑨集落の周囲に深い濠や土塁をめぐらした 15 集落も少なくなかった。死者は集落の近くの共同墓地に葬られ、土壌墓・木棺墓や石を組み合わせた箱式石棺墓などに手足を伸ばしたままで葬られる 16 葬が多い。またこの時代には方形の低い墳丘のまわりに溝をめぐらした 17 墓が各地に見られた。社会生活の上でも大きな変化をもたらした。 3 力が高まり農産物の蓄積が可能になると、集落内に 18 の差が生じた。また治水や灌漑等には、いくつかの集落による共同作業も行われ、一つの水系を単位とした地域を統率する首長が出現した。地域集団の間には、集団の利益をめぐる争いや併合が繰り返されたが、このような戦乱状態の存在は、⑩軍事的性格の強い集落の出現によっても確かめられる。こうした集落は瀬戸内海沿岸を中心とする西日本に多く分布する。

問1Ⅰ 下線部①について、縄文晩期～弥生前期の遺跡で、水田跡が発掘された佐賀県と福岡県の遺跡を次の中から選び、記号で答えよ。

佐賀県（ ア．垂柳遺跡 イ．荒神谷遺跡 ウ．尖石遺跡 エ．菜畑遺跡 ）

福岡県（ ア．板付遺跡 イ．亀ヶ岡遺跡 ウ．岩宿遺跡 エ．菜畑遺跡 ）

Ⅱ 下線部①でとれた米を蒸すのに用いたと思われる道具を次から選び、記号で答えよ。

ア．甕 イ．壺 ウ．甑^{こしき} エ．高坏（杯） （難）

問2 I 下線部②が最初に発見された場所を都道府県で答えよ。名前の由来となった場所である。

II 次の文で下線部②を説明しているものが2つある。文の正しい組み合わせを次の中から選び、記号で答えよ。

- a 多くは500度前後の低温で焼かれたため、黒褐色をしている。
- b 中期以降のものには複雑な文様のものが多い。
- c 実用的で簡素な文様である。
- d 従来よりも薄手で硬い。

組み合わせ ア. aとb イ. bとc ウ. bとd エ. cとd オ. aとd

問3 下線部③について、次の問いについて答えよ。

I 弥生時代の北海道は何文化と呼ばれていたか。記せ。

II また沖縄など南西諸島は平安時代の前期まで漁労を中心とする文化が続いていた。これを何文化というか、記せ。

問4 下線部④に用いたと思われるもので次の説明のものの名称を答えよ。

日本独特の釣鐘形青銅器で、近畿地方を中心に出土する。

問5 下線部⑤の存在を知る手がかりとなるものを次から選び、記号で答えよ。（難）

ア. 石匙 イ. えぶり ウ. 石製紡錘車 エ. 石錘

問6 下線部⑥以外の木製農具で田に肥料や青草を踏み込むものを次から選び、記号で答えよ。

ア. 田下駄 イ. 大足 ウ. 刀子 エ. えぶり （難）

問7 下線部⑦を次から選び、記号で答えよ。

ア. 刀子 イ. えぶり ウ. 鉄鎌 エ. 鉄鍬 （難）

問8 下線部⑧施設のある弥生後期の水田を何というか、漢字2字で記せ。

問9 下線部⑨のような集落が佐賀県から発見された遺跡を_____遺跡という。

_____にあてはまる地名を答えよ。

問10I 下線部⑩のような集落で山頂・丘陵上に営まれた集落を_____集落という。

_____にあてはまる語を答えよ。

II 上のIの例として知られている香川県の遺跡を次から選び、記号で答えよ。（難）

ア. 紫雲出山遺跡 イ. 垂柳遺跡 ウ. 大塚遺跡 エ. 三内丸山遺跡

【6】 次の史料を読んで、問いに答えよ。

- A a 百残・1は旧是れb 属民にして由来朝貢す。而るに倭は①辛卯の年を以て来りて海を渡り、百残□□1を破り、以て臣民となす。
- B ②建武中元二年、倭の2国、奉貢朝賀す。使人自ら3と称す。倭国の極南界なり。c 、賜うにd 印綬を以てす。③安帝の永初元年、倭の国王4等、5百六十人を献じ、請見を願ふ。
- C 夫れe 楽浪海中に倭人有り。分かれて百余国と為る。歳時を以て来り献見すと云う。
- D ④順帝の昇明二年、使を遣し、上表して曰く、「封国偏遠にして、藩を外に作す。（中略）」と。詔して、f 武を使持節都督・倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事・安東大將軍・倭王に除す。
- E その国、本亦男子を以て王と為す。住まること七・八十年倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり、乃ち共に一女子を立てて王と為す。名を6という。g 鬼道を事とし、能く衆を惑はす。年すでに長大なるも、夫婦無し。（中略）⑤景初二年六月、倭の女王、3難升米等を遣はしてh 郡に詣り、天子に詣りて朝献せむことを求む。（中略）その年の十二月、詔書して倭の女王に報じて曰く、「・・・今汝を以てi と為し、金印紫綬をゆるし、（下略）」

問1 1 ～ 6 にあてはまる語を漢字で記せ。

問2 史料A～Eの出典を語群から選び、記号で答えよ。

- ア.『漢書』地理志 イ.『後漢書』東夷伝 ウ.『魏志』倭人伝
エ.『宋書』倭国伝 オ. 高句麗広開土王（好太王）碑文

問3 下線部①～⑤は西暦何年か、次から選び、記号で答えよ。

- ア. 57年 イ. 107年 ウ. 239年 エ. 391年 オ. 478年

問4 下線部aに該当するものを次から選びなさい。

- ア. 倭国 イ. 斯盧（金城） ウ. 百濟 エ. 奴国 オ. 加羅

問5 下線部bとはどこの国の属民のことか、該当するものを次から選びなさい。

- ア. 倭国 イ. 高句麗 ウ. 辰韓 エ. 馬韓 オ. 弁韓

問6 下線部cにはいる皇帝名を次から選び、記号で答えよ。

- ア. 武帝 イ. 孝文帝 ウ. 光武帝 エ. 文帝

問7 I 下線部dに刻まれた文字を漢字5字で記せ。

II 下線部dが発見されたのはいつの事か、次から選び、記号で答えよ。

- ア. 弥生時代 イ. 鎌倉時代 ウ. 江戸時代 エ. 明治時代

III 下線部dが発見された場所は現在の何県か。次から選び、記号で答えよ。

- ア. 熊本県 イ. 福岡県 ウ. 長崎県 エ. 神奈川県

問8 I 下線部eは現在のどのあたりにあったと思われるか、その場所を次から選び、記号で答えよ。

- ア. 京城 イ. 平壤 ウ. 北京 エ. 釜山

II 下線部eを設置した人物はだれか、次から選び、記号で答えよ。

- ア. 秦の始皇帝 イ. 魏の明帝 ウ. 後漢の光武帝 エ. 宋の順帝 オ. 前漢の武帝

問9 I 下線部fにあたるとされている天皇を次から選び、記号で答えよ。

- ア. 仁徳天皇 イ. 安康天皇 ウ. 反正天皇 エ. 雄略天皇 オ. 応神天皇

Ⅱ 下線部 f はワカタケル大王と呼ばれた。この「大王」の名が見える銘があるのは次のどれか、記号で答えよ。

- ア. 隅田八幡宮人物画像鏡 イ. 石上神宮七支刀
ウ. 稲荷山古墳出土の鉄刀 エ. 好太王碑

問 10 史料 D に見える「順帝」は、ア. 南朝 イ. 北朝のどちらの王か、記号で答えよ。

問 11 I 下線部 g の「鬼道」とは何か、漢字 2 字で記せ。

Ⅱ 「下線部分 g は何を意味するか」という問いに対して次のような解答がなされた。空欄にあてはまる語をそれぞれ漢字 2 字で記せ。（難）

ア 的な性格をさし、イ 的権威により民衆を率いること。

問 12 下線部 h の地名を漢字 2 字で記せ。

問 13 下線部 i にあてはまる語を漢字 4 字で記せ。

問 14 6 の跡継ぎとなった 13 歳の少女の名を漢字 2 字で記せ。

問 15 6 は何という国の女王か、その国の名を漢字 4 字で記せ。

問 16 問 15 の位置については九州説と I 説が有名である。問 15 の位置が I にあれば Ⅱ 世紀には西日本を統一していたことになる。I には地名を漢字 2 字で記し、Ⅱ には数字を記せ。

【7】 次の文の（ ）にあてはまる語を語群から選び、記号で答えよ。また下線部について、問いに答えよ。

古墳の発生は、3 世紀末ないし 4 世紀初めころと考えられ、その地域は瀬戸内海沿岸から畿内にかけてであろうと思われる。古墳時代は前・中・後の 3 期に区分される。前期には大きな墳丘に特定の個人を葬る古墳が（1）に築かれた。この時期は、やがて日本を政治的に統一する大和朝廷の成立期にあたっている。当時の古墳は、（2）といわれるわが国独特の形式をもつもので、墳丘の上部の（3）石室や（4）槨の中に遺体と副葬品をおさめた。中期は外形や埋葬方法では大体同様であるが、その立地と副葬品と規模が著しく変わった。すなわち、古墳が築造される場所は（5）に移り、副葬品は（6）のような呪術性のものから（7）のような軍事的実用的なものに変化し、古墳の規模は（8）した。その最盛期を語る①百舌鳥古墳群の中心の（9）古墳（大阪府堺市）は、大和朝廷の勢力がいかに大きかったを物語っている。これら墳墓は多くのきらびやかな副葬品を蔵し、封土上には（10）埴輪が配列され、（11）埴輪が棺の内外に置かれた。（11）埴輪はその当時の風俗を知る上で好資料である。6 世紀の古墳時代後期になると、古墳自体にも大きな変化が現れた。従来の堅穴系の埋葬施設にかわって朝鮮半島から伝わった（12）石室が一般化し、新しい葬送儀礼にともなう多量の土器の副葬が始まった。後期の古墳は小さな古墳が爆発的に増加し、これまで古墳のなかった山間や島にまで広く②（13）墳とよばれる小型古墳がつくられるようになった。

【語群】

- ア. 前方後円墳 イ. 堅穴式 ウ. 大仙陵 エ. 丘陵地 オ. 平野 カ. 形象
キ. 方形周溝墓 ク. 横穴式 ケ. 巨大化 コ. 群集 サ. 粘土 シ. 関東
ス. 馬具・武具 セ. 鏡・玉 ソ. 応神陵 タ. 円筒

問 1 下線部①の読みを記せ。

問 2 下線部②の例として新沢千塚がある。これがある場所を次から選び、記号で答えよ。

- ア. 和歌山県 イ. 奈良県 ウ. 埼玉県 エ. 東京都

【8】次の文章の（ ）にあてはまる語を語群から選び、記号で答えよ。

5世紀になると朝鮮半島の影響を受け、竪穴住居の壁に（ 1 ）が設けられるようになった。土器は、古墳時代前期から中期の初めまでは弥生土器の系譜を引く赤焼きの（ 2 ）が用いられたが、5世紀には朝鮮半島から硬質で灰色の（ 3 ）の製作術が伝えられ、（2）とともに用いられるようになった。衣服は、一般の人々は弥生時代以来の（ 4 ）衣（男性）・（ 5 ）衣（女性）を着用していたらしい。しかし古墳に埋葬される階層の人々は、男性が上衣と乗馬ズボン風の（ 6 ）、女性は衣とスカート風の（ 7 ）という上下にわかれた衣服を着用していたことが、古墳から出土する（ 8 ）埴輪などで推定される。弥生時代以後、農耕社会が形成されるにつれて農耕に関する儀礼もうまれ、後の日本の社会や習俗に大きな影響を及ぼした。豊作を祈る春の（ 9 ）祭、収穫に感謝する秋の（ 10 ）祭などは、中でも重要な行事であった。また神の宿るところとして樹木や山・川・岩などを祭った祭祀遺跡が各地から発見されており、後には人里近くに社を作り、自然神や氏の祖先神を祭ることも行われるようになった。これら各地の社は朝廷による地方の統一が進むにつれて、それぞれ特定の性格や由緒を持つ神として朝廷の神話の中に位置づけられていった。中でも皇室の祖先神（ 11 ）を祭る（ 12 ）、^{おおくにぬしみこと}大国主命を祭る（ 13 ）、海神を祭る（ 14 ）、（ 15 ）山を神体とし、拝殿のみで本殿のない奈良県の大神神社、^{げんかいなだ}玄界灘の孤島（16）を神として祭る福岡県の（ 17 ）の沖津宮などが古くから知られている。^{けが}穢れを、^{はら}祓え、災害をのがれるための（ 18 ）・^{はらえ}祓や、鹿の骨を焼いて吉凶を占う（ 19 ）、裁判にあたって熱湯に手を入れさせ、手がただれるかどうかでその人物の主張の真偽を判断する（ 20 ）

などの呪術的風習も盛んであった。

語群

ア. ^{はかま} 袴	イ. 人物	ウ. ^{みわ} 三輪	エ. ^{すえき} 須恵器	オ. ^{むなかたたいしゃ} 宗像大社
カ. ^も 裳	キ. ^{けき} 袈裟	ク. かまど	ケ. ^{あまてらすおおみかみ} 天照大神	コ. ^{ふとまに} 太占の法
サ. ^{みそぎ} 禊	シ. ^{かんとう} 貫頭	ス. 沖ノ島	セ. 伊勢神宮	ソ. ^{いずもたいしゃ} 出雲大社
タ. ^{としごい} 祈年	チ. ^{にいなめ} 新嘗	ツ. ^{はじき} 土師器	テ. ^{すみよし} 住吉大社	ト. 盟神探湯

【9】 次の文章の（ ）にあてはまる語を語群から選び、記号で答えよ。また、下線部について問いに答えよ。

大王を中心に諸豪族が連合した大和政権は、国内統一の進行に伴い各地の豪族を（1）制度という政治組織の中に組み入れた。同族集団である氏は、首長である（2）と、一般構成員である（3）からなる。（2）は（3）を率いて大和政権に仕えるとともに、私有の田地である（4）、（5）と呼ばれた農民や奴隷を支配した。大王はこれらの氏にその家柄や職業に応じて、臣・①連・君などの身分を示す（6）を与え、その地位と職業を世襲させた。また臣・連のなかの有力者を大臣・大連とし、これに国政を担当させ、地方の豪族は（7）・②県主の地位を与え、それぞれの地方を支配させるとともに生産物の貢納にあたらせた。

大和政権は子代・名代と呼ばれる直属の部民と、（8）と呼ぶ直轄地を地方豪族の領域に設けて地方に対する直接支配を強めた。朝廷の③祭祀や④軍事などさまざまな職務は（9）に分担させた。

（9）は伴と呼ばれる世襲的職業団体や、（10）と呼ばれる職業部民を率いて奉仕した。この頃、中国や朝鮮半島との交渉の中で、⑤漢字や⑥儒教・仏教などの新しい文化や鉄器・土器・機織りなどに関する新技術が渡来人によって伝えられたが、大和政権はかれらを知識者・技術者集団として組織し、各地に居住させた。

【語群】

ア. 姓 イ. 氏人 ウ. 屯倉 エ. 田莊 オ. 伴造
カ. 氏姓 キ. 氏上 ク. 国造 ケ. 部曲 コ. 品部

問1 下線部①を与えられた豪族を次から選び、記号で答えよ。

ア. 物部氏 イ. 蘇我氏 ウ. 吉備氏 エ. 出雲氏

問2 下線部②の読みをひらがなで記せ。

問3 下線部③の分掌を担当した豪族を次から選び、記号で答えよ。

ア. 中臣氏 イ. 物部氏 ウ. 葛城氏 エ. 大伴氏

問4 下線部④の分掌を担当した豪族を次から選び、記号で答えよ。

ア. 中臣氏 イ. 蘇我氏 ウ. 葛城氏 エ. 大伴氏

問5 I 下線部⑤の伝来に関して、百済から『論語』や『千字文』を伝えて西文氏の祖先とされた人物を次から選び、記号で答えよ。

ア. 王仁 イ. 阿知使主 ウ. 弓月君 エ. 司馬達等

II 下線部⑤を使用した当時の遺物とそれぞれ関係のある県名を選び、記号で答えよ。

遺物 a 隅田八幡神社人物画像鏡銘文 b 稻荷山古墳出土鉄剣銘
 c 江田船山古墳出土大刀銘

県名 ア. 埼玉県 イ. 熊本県 ウ. 和歌山県

問6 6世紀に来日し、下線部⑥の経典を講じ、わが国に下線部⑥を伝えたと言われる人々は当時何といわれたか。漢字4字で記せ。

【10】 次の文章中の空欄にあてはまる語を記し、下線部については問いに答えよ。

五世紀に入ると、朝鮮半島では 1 が都を丸都から平壤に移し、勢力の南下をはかった。2 は、1 の圧迫によって都を漢城から南の熊津に移さなければならなかった。『日本書紀』の記事では六世紀に 2 は任那の割譲を求めてきた。512 年、大連であった 3 はヤマト政権下の任那 4 県を 2 に与えた。この責任を問われて 3 は 540 年に失脚し、任那日本府は 562 年、4 によって滅亡したという。日本国内では、527 年にヤマト政権の対 4 出兵に反発した筑紫国造 5 が、北部九州の勢力をまとめて反乱を起こし、4 遠征軍の渡海をさえぎるという乱が勃発した。この乱は物部麁鹿火によってようやく翌年、鎮圧された。

厩戸王は 6 と協調しつつ天皇中心の集権国家の樹立を意図した。a 冠位十二階の制定、b 憲法十七条、c 国史の編纂 はその現れである。外交面では父祖以来の方針を転換して、中国統一王朝 d 隋と国交を開き、積極的に大陸文化を摂取して国力の充実をはかった。

問1 下線部 a の説明として正しいものを次から選び、記号で答えよ。

- ア. 冠位は、中央官吏の登用を意図して才能・功績のある者を姓の高低に従い、豪族の首長である氏上に与えられた制度である。
- イ. 冠位は、中央官吏の登用を意図して才能・功績に応じて姓に関係なく個人に与えられたものである。
- ウ. 冠位は、中央豪族で才能・功績のある者を中央官吏に登用することを意図して、氏族に与えられたものである。
- エ. 冠位は、地方豪族で才能・功績のある者を中央官吏に登用することを意図して、豪族の首長である氏上に与えられた制度である。

問2 下線部 b の特色を説明した文章で誤っているものを選び、記号で答えよ。

- ア. これは統一国家の理念や君臣民のすべき道を説いている。
- イ. これは官吏・豪族の守るべき政治道徳を説いている。
- ウ. これは仏教を敬うことを強調している点からもわかるように、仏教思想でつらぬかれており、中国の儒教思想の影響はほとんど認められない。
- エ. これが、国家の中心としての天皇に服従すべきことを強調しているのは、後の官僚制的な中央集権の方向に一步進めたものといえよう。

問3 下線部 c 以前にあった A（皇室の系図を記録したもの）・B（神話・伝承を記録したもの）を参考にして『天皇記』『国記』等を作った。A・B にそれぞれ漢字 2 字で記せ。

問4 下線部 d に関して問いに答えよ。

- ① 遣隋使として派遣された人物を次から選び、記号で答えよ。
ア. 小野妹子 イ. 山上憶良 ウ. 安倍仲麻呂 エ. 吉備真備
- ② 時の隋の皇帝の名前をひらがなで記せ。
- ③ 中国に対する厩戸王の外交方針の特徴を示しているものを次から選び、記号で答えよ。
ア. 倭の五王時代に引き続いて対等な関係をもとうとする。
イ. 倭の五王時代に引き続いて優位な立場を維持しようとする。
ウ. 倭の五王時代とは変わって対等な関係をもとうとする。
エ. 倭の五王時代とは変わって優位な立場を維持しようとする。

【解答】

【1】問1 1 更新世 2 氷河 3 打製 4 旧石器 5 マンモス
6 ナウマンゾウ 7 静岡 8 沖縄 9 相沢忠洋
10 群馬 11 関東ローム 12 土器 13 先土器（無土器）

問2 旧石器

問3 I A（ア） B（イ） C（ウ） D（エ）
II A（あ） B（い） C（う） D（え）

【2】 A 完新世 B 弓矢 C 生活 D 竪穴 E 貧富
1（ウ） 2（セ） 3（ソ） 4（エ） 5（イ）
6（カ） 7（シ） 8（サ） 9（ア） 10（チ）
問1 放射性 問2a モース b 大森 問3（エ）

【3】 A 問1（ウ） 問2 火炎土器 B 問1（エ） 問2 注口土器
C 問1（イ） 問2 尖底土器 D 問1（オ） 問2（エ）
E 問1（ア） 問2 環状列石 F 問1（ア） 問2（イ）

【4】 1（ウ） 2（イ） 3（エ） 4（ア）
5 アニミズム 6 石皿 7 骨角器 8 石鏃 9 屈葬
10 土偶 11 ① 抜歯 ② 叉状研歯

【5】 1 金属器 2 採集 3 生産 4 支石墓 5 長江
6 湿田 7 田下駄 8 奈良 9 直播 10 石包丁
11 竪杵 12 高床倉庫 13 静岡 14 竪穴住居 15 環濠
16 伸展 17 方形周溝 18 貧富
問1 I 佐賀県（エ） 福岡県（ア） II（ウ）
問2 I 東京都 II（エ） 問3 I 続縄文文化 II 貝塚文化
問4 銅鐸 問5（ウ） 問6（イ） 問7（ア）
問8 乾田 問9 吉野ヶ里 問10 I 高地性 II（ア）

【6】
問1 1. 新羅 2. 奴 3. 大夫 4. 帥升 5. 生口 6. 卑弥呼
問2 A（オ） B（イ） C（ア） D（エ） E（ウ）
問3 ①（エ） ②（ア） ③（イ） ④（オ） ⑤（ウ）
問4（ウ） 問5（イ） 問6（ウ）
問7 I 漢委奴国王 II（ウ） III（イ）
問8 I（イ） II（オ） 問9 I（エ） II（ウ）
問10（ア） 問11 I 呪術 II ア. 巫女 イ. 宗教
問12 帯方 問13 親魏倭王 問14 壺与（台与）
問15 邪馬台国 問16 I 近畿（大和） II（3）

【7】 1（エ） 2（ア） 3（イ） 4（サ） 5（オ）
 6（セ） 7（ス） 8（ケ） 9（ウ） 10（タ）
 11（カ） 12（ク） 13（コ）
 問1 も ず 問2（イ）

【8】 1（ク） 2（ツ） 3（エ） 4（キ） 5（シ）
 6（ア） 7（カ） 8（イ） 9（タ） 10（チ）
 11（ケ） 12（セ） 13（ソ） 14（テ） 15（ウ）
 16（ス） 17（オ） 18（サ） 19（コ） 20（ト）

【9】 1（カ） 2（キ） 3（イ） 4（エ） 5（ケ）
 6（ア） 7（ク） 8（ウ） 9（オ） 10（コ）
 問1（ア） 問2（あがたぬし） 問3（ア） 問4（エ）
 問5 I（ア） IIa（ウ） b（ア） c（イ） 問6 五経博士

【10】 1 高句麗 2 百濟 3 大伴金村
 4 新羅 5 磐井 6 蘇我馬子
 問1（イ） 問2（ウ） 問3A 帝紀 B 旧辞
 問4①（ア） ② ようだい ③（ウ）